チェンソー目立て装置「キマル」

取扱説明書

Ver.20130215

　このたびは、キマル技研の目立て装置「キマル」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

　ご使用に先立ち、この取扱説明書を最後までよくお読みください。

　なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」のすべてをよくお読みいただき、各部の働き及び使用方法を正しく理解し、説明に従って使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
   - 間違った操作や使用をされると、けがの原因となります。
2. 使用する際は、作業場をきれいに片づけてから作業してください。
   - ちらかった場所での作業は、事故やけがの原因となります。
3. 作業場の環境に配慮してください。
   - 平らな場所で作業してください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 電動工具を使う場合は、雨中や濡れた場所等では作業しないでください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 作業者以外の他者、特に子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、チェンソーやグラインダー、刈刃、目立て装置に触れさせないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない錠のかかる所に保管してください。
6. きちんとした服装で作業してください。
   - 作業中は常に手袋を着用し、履物は滑りにくいものを使用してください。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
7. 作業台や、目立てをするチェンソーならびに目立て装置はしっかりと固定してください。
   - 固定が不十分だと、作業台やチェンソー等が傾いたり落下して、事故やけがの原因となります。
   - 無理な操作をすると、破損やけがの原因となります。
8. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
9. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、チェン刃、ガイドバーや装置などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損や亀裂、変形があると、事故やけがの原因となります。

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

目次

1. はじめに 4
2. チェンソーに「キマル」を装着する 5
   ① 軽トラックの荷台にコンテナーを置く 5
   ② コンテナーにチェンソーを仮留めする 5
   ③ チェンソーにキマル本体部を挿入する 6
   ④ キマルの取付高さ位置を決める 7
   ⑤ キマル本体部をバーに固定する 8
   ⑥ キマル本体部を軽トラックの荷台に固定する 8
3. 目立てる刃先を「キマル」にセットする 9
   ① 基準ゲージを下げる 9
   ② 刃先ストッパーを刃先にセットする 10
   ③ 刃先ストッパーを固定する 11
4. ヤスリをあて目立てをする 12
   ① ヤスリをヤスリホルダーに取り付ける 12
   ② ヤスリホルダーをキマル本体部にセットする 13
   ③ ヤスリレバーを引いて横刃を目立てる 14
   ④ ヤスリ圧を調整する 14
   ⑤ 上刃切削面にヤスリをあて目立てる 15
   ⑥ 次の左刃（あるいは右刃）を目立てる 15
   ⑦ 左右の刃先を入れ替えて目立てる 16

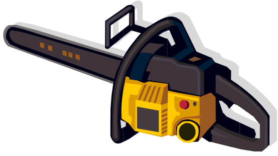
Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

1. はじめに

- チェンソー目立て装置「キマル」は、ヤスリの角度や高さ、直動の動き等を固定して機械的に制御することで、誰でも簡単に早くそして正確にソーチェンの目立てを行うことができます。

- チェンソー目立て装置「キマル」は、安全な場所であれば何処でも使用可能です。
- 本取扱説明書では、背筋を伸ばして楽な姿勢で目立て作業ができるよう、**軽トラックの荷台を作業台として利用**することを前提に説明します。

- 作業を始めるにあたり、以下のものをご準備ください。（手袋等の保護具は別に必ずご用意ください）

必ずご準備いただくもの		
①キマル	②チェンソー	③目立てヤスリ　2本 （ソーチェンに適合するサイズ）
		

あると便利なもの		
④軽トラック	⑤コンテナー （トラックの荷台の高さと同程度のもの）	⑥ゴムバンドとナット （ゴムバンドの長さは 1m ほど）
		 （ナットはゴムバンドを通す穴サイズのもの）

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

2. チェンソーに「キマル」を装着する

① 軽トラックの荷台にコンテナーを置く

- 水平で明るい場所に、軽トラックを駐車します。
- 軽トラックの荷台後部に、コンテナーを逆さに(底を上に)して置きます。

- チェンソーにキマルを装着する際に、チェンソーが傾かないように後ろハンドルを固定するためのゴムバンドを準備しておくと便利です。
- コンテナーの底の隙間にゴムバンドを通しておきます。ゴムバンドの長さを後から調節できるよう、片方はコンテナーの底に結び留め、もう片方は側面から引き出してナットを使って結び留めしておきます。

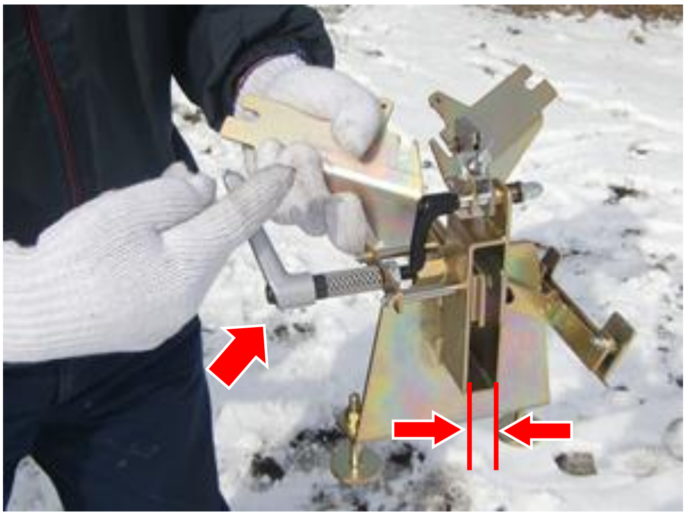
② コンテナーにチェンソーを仮留めする

- 軽トラックの荷台後部からチェンソーのバーを突き出すようにして、コンテナーにチェンソーを乗せます。
- この時チェンソーが前に転がらないように、チェンソーの後ハンドルをコンテナーに取り付けたゴムバンドで仮留めします。ナットを使ってゴムバンドの長さを調整し、チェンソーをしっかりと固定してください。

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

③ チェンソーにキマル本体部を挿入する

● キマルの「バー固定レバー」を反時計回りに回して、左右の「キマルゲージ」の隙間を広げます。

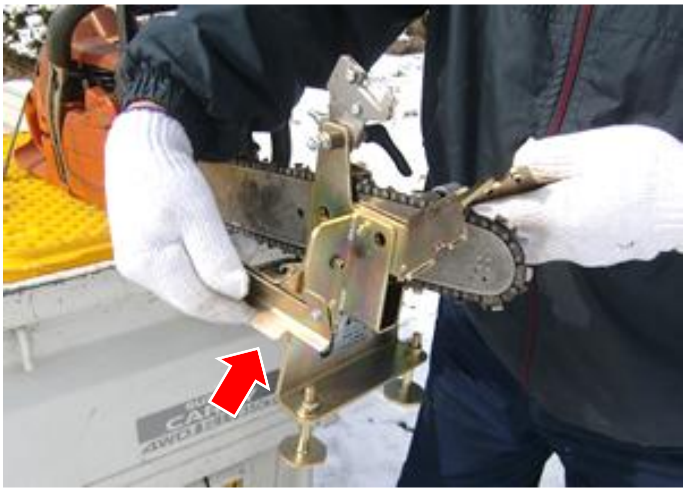


● チェンソーのバー先端から「キマルゲージ」の間を通して、キマル本体部をチェンソーに差し込みます。
● バーの3分の1くらいの中ほどまで、キマルの本体部を挿入してください。

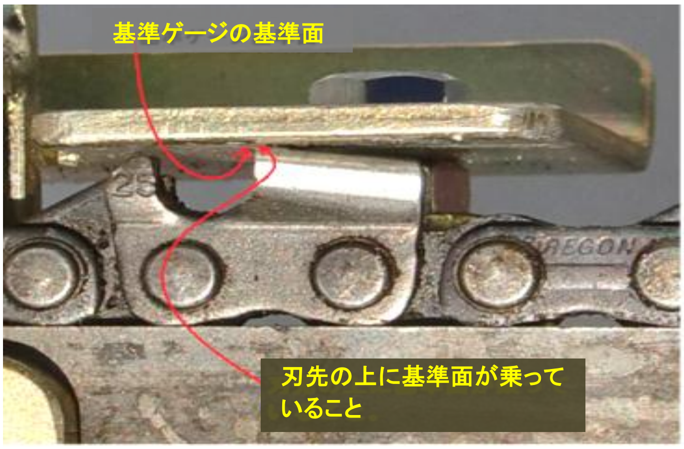
Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

④ キマルの取付高さ位置を決める

- キマルの「基準ゲージ」を上に起こします。必ず制限一杯まで、確実に起こしてください。



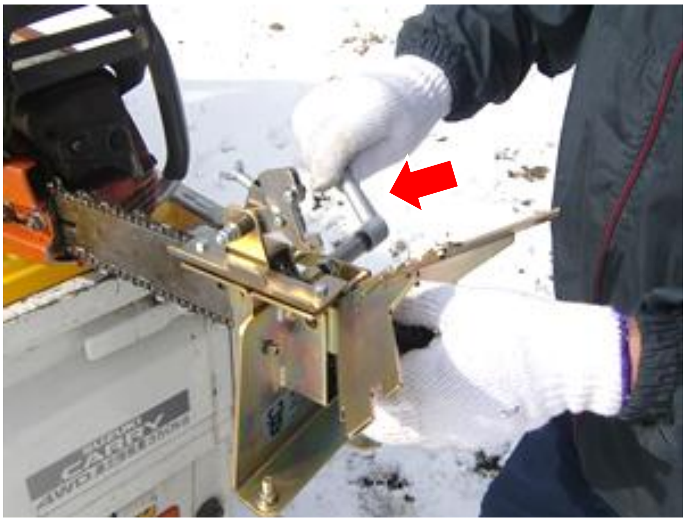
- ソーチェンの前後の刃先上端が、「基準ゲージ」の中央付近に確実に乗っている状態（下の写真）を確認して、キマル本体部をチェンソーのバーに吊り下げます。



Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

⑤ キマル本体部をバーに固定する

● 取付高さ位置が決まったら、位置ズレに注意しながら「バー固定レバー」を時計回りに回してキマル本体部をチェンソーのバーに固定します。



⑥ キマル本体部を軽トラックの荷台に固定する

● キマル本体部を、軽トラック荷台のコーナー部に、キマルの「脚ボルト」を利用して固定します。

● この時、先に仮留めしていたゴムバンドは不要ですので外してください。また、コンテナーの位置もチェンソーを固定するために適当な位置に移動してください。

● コンテナーの高さとチェンソーの高さが合わずエンジン下部に隙間があく場合は、古雑誌などを利用して隙間を埋め、ヤスリをかけてもチェンソーがグラつかないよう、しっかりと固定してください。

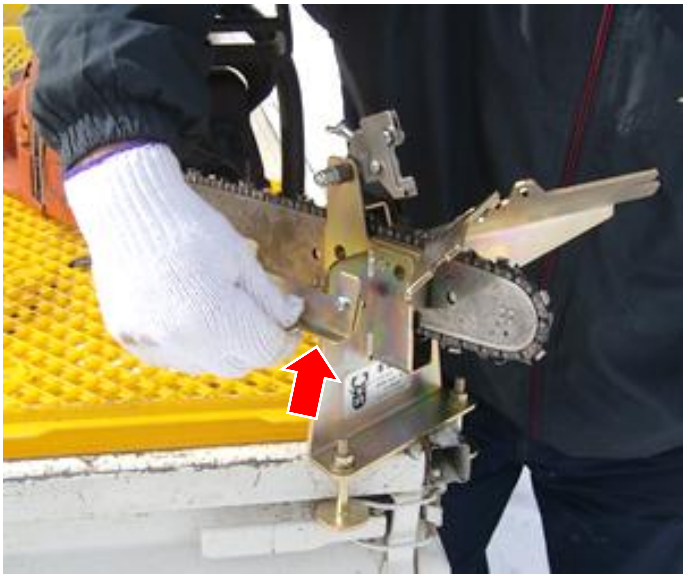
● 以上で、キマルの装着は完了です。

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

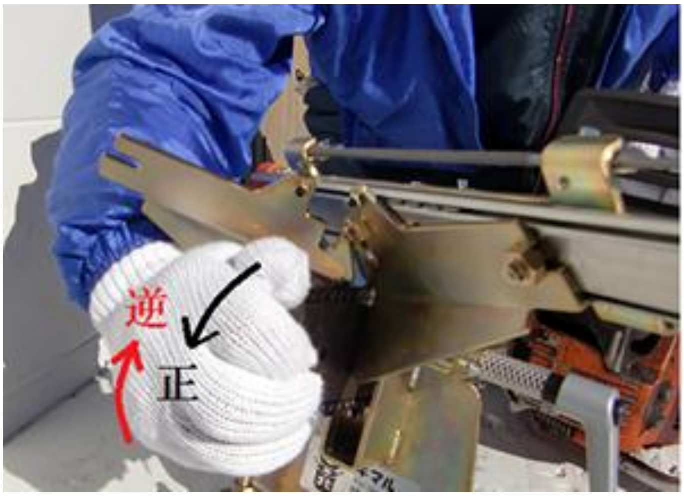
3. 目立てる刃先を「キマル」にセットする

① 基準ゲージを下げる

- キマルの「基準ゲージ」を下に下げます。必ず制限一杯まで、確実に下げてください。



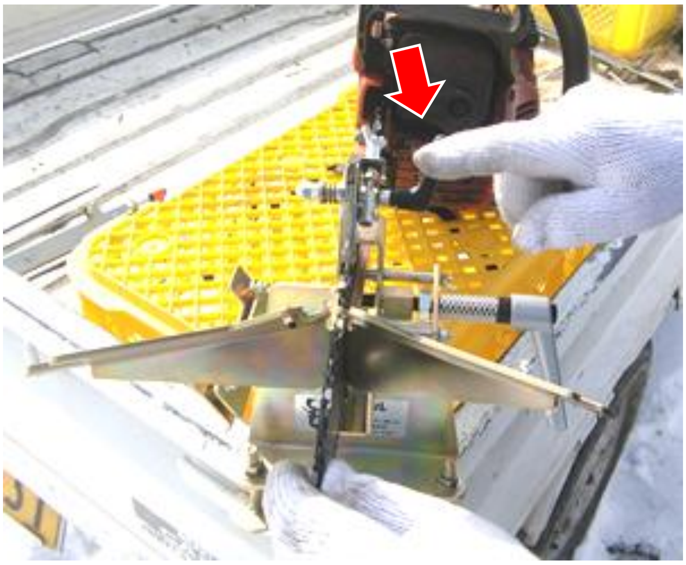
- チェンソーのバー先端部を右掌で軽く握り、ソーチェンが正逆回転共に回る（動く）ことを確認してください。



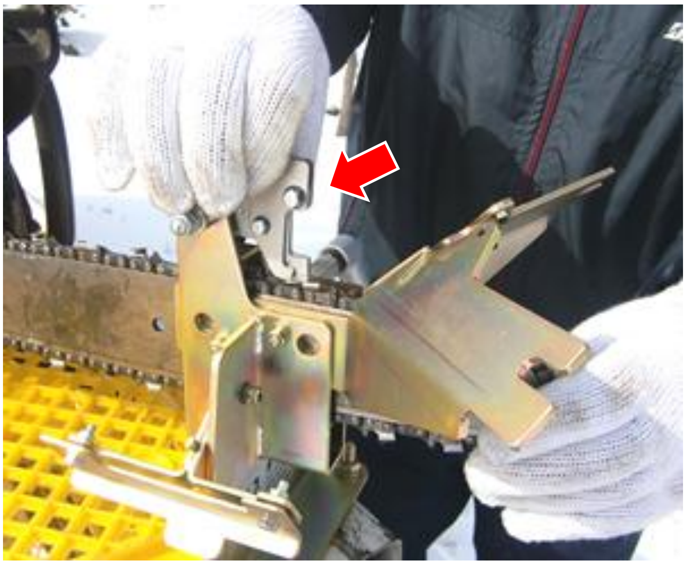
Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

② 刃先ストッパーを刃先にセットする

- 「刃先固定レバー」を**右側**に倒すと、「刃先ストッパー」の固定が緩み、刃先ストッパーを上下左右に動かせるようになります。

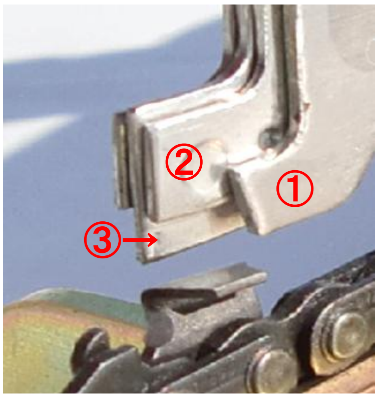


- ソーチェンを逆回転させながら「刃先ストッパー」を下げて、刃先ストッパーを刃先にセットします。



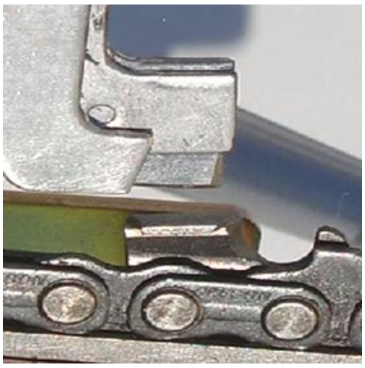
- **「刃先ストッパー」は、必ず所定の位置にセットしてください。**
- 「刃先ストッパー」は、5枚の板で構成されています。
  右写真のように、ソーチェンの【右刃】を固定する場合は、
  ①が**後ろから**刃先を押さえてヤスリ圧を調整します。
  ②が**上から**刃先を押さえつけてソーチェンをバーに固定します。
  ③が**横から**右刃先を押さえつけて刃先を固定します。

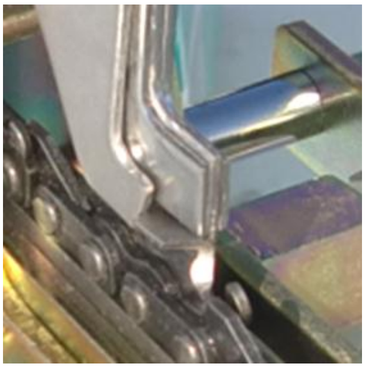
  ※【左刃】の場合は、逆側からの3枚の板が上記の役割をします。



Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

【右刃をセットした状態】 【左刃をセットする前】 【左刃をセットした状態】



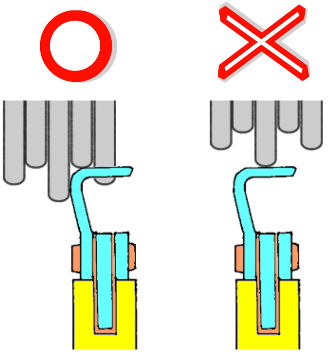


ご注意ください！

刃先ストッパーを単に真っすぐ下ろして、上刃の真上に中央のストッパーを下ろすのは間違いです。

刃先ストッパーを間違った位置にセットすると、ヤスリが刃先ストッパーに当たって目立てが出来ません。

「刃先ストッパー」の機能と役割をご理解いただき、正しい位置にセットしてください。



③ 刃先ストッパーを固定する

- 「刃先固定レバー」を**左側**に倒すと、「刃先ストッパー」が締め付けられ、刃先がバーに固定されます。

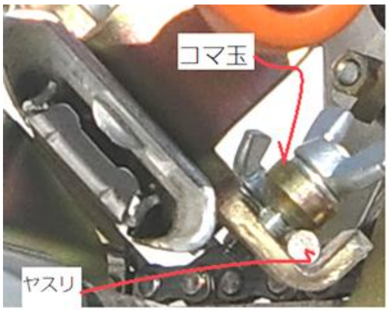
Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

4. ヤスリをあて目立てをする

① ヤスリをヤスリホルダーに取り付ける

- 「ヤスリホルダー」の「ヤスリ取り付けネジ」を緩めて、「コマ玉」とガイドの間にヤスリを取り付けます。ヤスリは左右に2本取り付けてください。

【ヤスリホルダー】



- キマルを使う場合、ヤスリは押しても、引いても、共に目立てが可能ですが、ヤスリを引いて目立てをした方が簡単です。
- **本取扱説明書では、ヤスリを引いて目立てをする方法を説明します。**

- ヤスリを引いて使う場合は、ヤスリの先端を向こう側（オレンジ色の「ヤスリレバー」の反対側）に向けて、ヤスリホルダーにセットしてください。

- 「ヤスリレバー」（オレンジ色）は、軸部分を親指で押すとフリーになります。作業しやすい角度にレバーを調整してください。

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

② ヤスリホルダーをキマル本体部にセットする

- キマル本体部の「【左】キマルゲージ」のU字溝に、ヤスリホルダーの「掛けボタン」をはめ込みます。

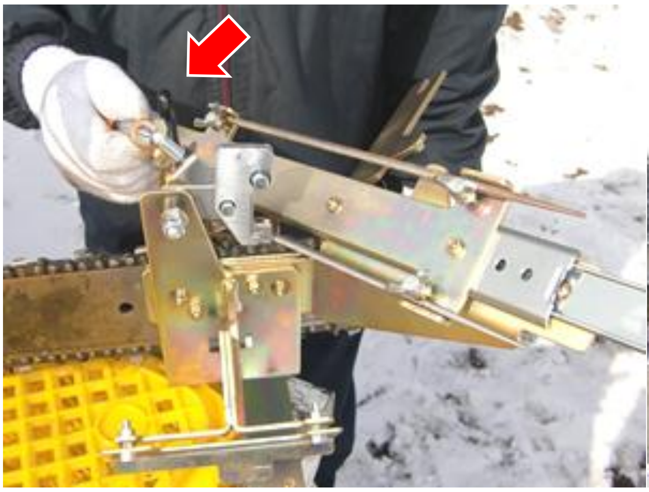
- 「掛けボタン」を軸にヤスリホルダーを倒すと、ヤスリホルダーは「ヤスリ休め」に掛かって下がらなくなります。

- 以上で、ヤスリをかける準備が整いました。

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

③ ヤスリレバーを引いて横刃を目立てる

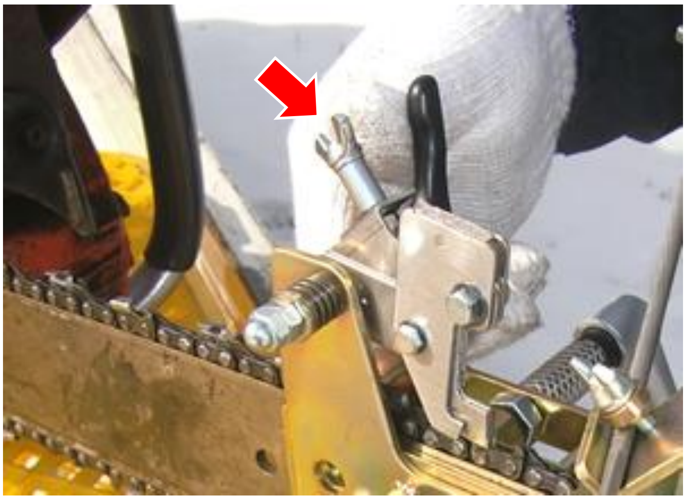
- 「ヤスリレバー」(オレンジ色)を手前に引き寄せると、「ヤスリ休め」の掛かりが外れ、ヤスリがソーチェンの刃先に入り込みます。



- ヤスリレバーを、**刺身を切るように**、肩の力を抜いて軽く手前に引いて目立てをします。
- ヤスリの削り面一杯までヤスリを引いたら、ヤスリレバーを持ち上げて元の位置まで戻し、再度ヤスリをあてて目立てをします。

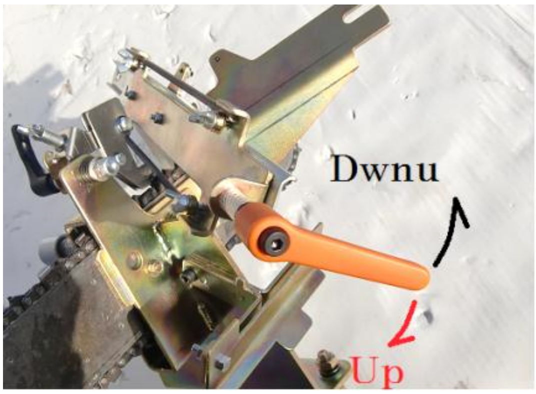
④ ヤスリ圧を調整する

- 「ヤスリ圧調整ネジ」を反時計回りに回すと、ヤスリ圧が上がります。
- 「ヤスリ圧調整ネジ」を時計回りに回すと、ヤスリ圧が下がります。
- よい目立てをするには、このヤスリ圧の調整がとても重要です。



Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

⑤ 上刃切削面にヤスリをあて目立てる

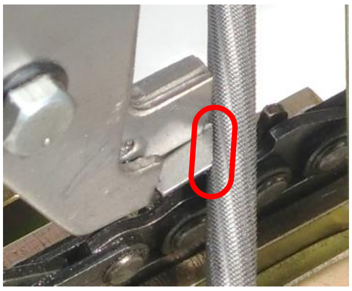


- ヤスリレバー（オレンジ色）に時計回り（Up方向）に軽い力を加えると、ヤスリホルダーにねじれが生じて、上刃切削面に対して下からヤスリ圧が加わります。
- このヤスリ圧を保った状態でヤスリレバーを引くと、上刃切削面の目立てが出来ます。
- ヤスリレバーを反時計回り（Dwnu方向）に回すとヤスリが上刃切削面から離れるので、ヤスリを元の位置に戻します

ポイント①

- ✓ チェンソーの切れ味を一番左右するのが、上刃切削面の目立てです。
- ✓ 上刃切削面の目立てでは、ヤスリを下から持ち上げて、切削面の下からヤスリ圧を加えなければなりません。しかし通常、下から刃先にヤスリ圧を加えるとソーチェンが上に持ち上がり、適切なヤスリ圧を加えることは困難です。キマルは、不安定な刃先を刃先ストッパーでガッチリ固定することで、上刃切削面に適切なヤスリ圧を加えることが出来る仕組みになっています。

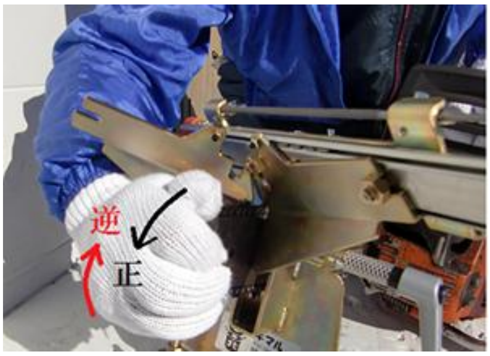
ポイント②



- ✓ どこまで目立てをするか？　目立てはヤスリをかける回数ではありません。
- ✓ 上刃先のメッキ部を観察して、刃先面のメッキ傷がなくなるまで目立てをします。

⑥ 次の左刃（あるいは右刃）を目立てる

- 右手で「ヤスリレバー」を上げて、ヤスリ休めに掛けます。
- 左手で「刃先固定レバー」を右側（時計回りの方向）に制限一杯まで倒すと、刃先ストッパーが刃先から抜けてソーチェンが回る（動く）ようになります。
- チェンソーのバー先端部を右掌で軽く握りソーチェンを回して、一つ飛んだ左刃先（あるいは右刃先）と刃先ストッパーを噛みあわせて、先と同様のヤスリがけを繰り返します。

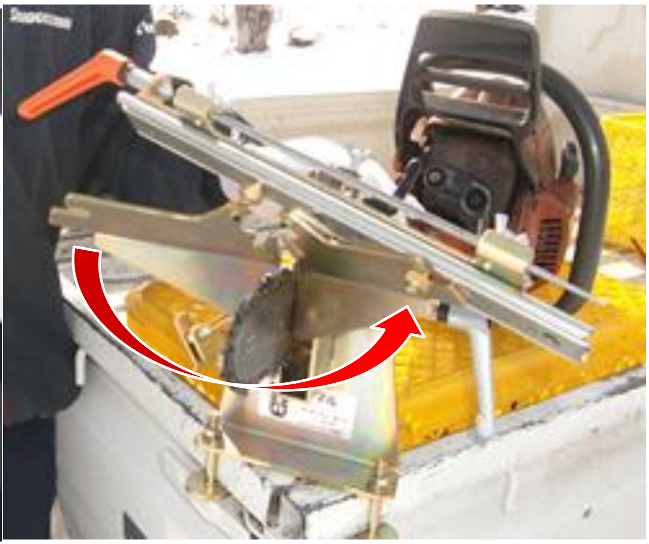


Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

⑦ 左右の刃先を入れ替えて目立てる

- 左刃（あるいは右刃）の目立てが一巡したら、反対側の刃先を目立てます。

- 片方の刃先の目立てが一巡したら、「ヤスリホルダー」を「キマル本体部」から取り外し，人はキマルの反対側に移ります。
- 「ヤスリホルダー」を反対側の「キマルゲージ」に掛け替えて、先と同様の目立てを繰り返します。



- 以上でキマルを使ったチェンソーの目立て作業は完了です。

Copyright© 2013 キマル技研, all rights reserved.

部品ご入用、故障の場合、その他取り扱いご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問合せください。
※ 改良のため断りなく仕様・外観などを変更することがあります。

キマル技研　（旧称　北川原技研）

〒387-0023　長野県千曲市大字八幡 1543 番地

Tel/Fax:　026-272-5068
e-mail:　info@kimaru-giken.com
www:　http:// kimaru-giken.com/

Copyright© 2013　キマル技研, all rights reserved.